

2025 年 04 月 15 日

姿勢矯正

臨床レポート

迷走神経反射

姿勢と不調症状改善の地域サポートセンター姿勢カイロ・オフィス院長の辻内正昭です。姿勢矯正士です。一流の治療家を目指し奮闘の日々です。



今回は迷走
神経反射で
す。このテー
マについては
医療関係者
ではないた
め、あくまでも
臨床経験から
の推論にな

る。

迷走神経反射は長時間立っていたり、座わっていたりすると起こるとされ痛み、恐怖、疲労、ストレスなどを受けることでも起こるようだ。

当院でも血圧が低く貧血気味の方に多いと思われるが、坐位で上腕から肘にかけて施術中に「気分が悪い」や「貧血症状」を訴えることを時々経験している。

私はおそらくこれは初めて施術を受けに来て何をされるのか不安と緊張の中で施術部位の血流がよくなることで起こるのか、或いは副交感神経である迷走神経が一時的に優位になり血圧低下をきたして脳への血流が一時的に不足することで起こるのではないかと考えている。

脳は体全体の血液の25%を必要とするが一時的に血液不足になると血管迷走神経失神がおこるのだろう。頸部への介入時にも同じような症状が起こる場合がある。特に首に対する施術は慎重であるべきだ。万一迷走神経反射が起きた場合でも「ゆっくり寝かせてしばらく休ませる」ことで回復する。

話は変わるが、高齢者で高血圧の薬を飲んでいる人が食後に寝ていると思っていっても実際は失神している事例もあると聞く。気がつかないうちに自動車事故を起こしてしまった。歩行時に知らぬうちに転倒し怪我をした。お風呂でリラックスしすぎて溺れる等の話を聞くと降圧剤やその他何らかの影響で副交感神経が優位になりすぎ血管迷走神経反射がおこったのではないかと考えてしまう。しかし、失神には脳血管性や心原性失神など病気が潜んでいる場合があることも忘れてはならない。医学関係者で詳しい人は教えて欲しいものだ。

さらに次元が違う別の話だが、首を急激に回旋させポキポキ鳴らしたりするのは危険で論外である。厚生労働省もポキポキやアジャスト、スラストなどの危険な施術は椎骨動脈解離や脳卒中の危険があるとして禁じている。

当院ではそういった危険行為は一切行なっていないのでご安心ください。